

新型コロナウイルスの最新の動き(5月14日付)

在モンリオール日本国総領事館

●当館管轄州における感染者数等の現状(5月14日(木)15時現在, 各州政府 HP・記者会見から引用)

	陽性*	死亡	現状の感染者数**	検査済(陰性)	入院者数
QC	40724 (+793)	3351 (+131)	26544 (+303)	267311 (+5742)	1834 (-42) (内 ICU 患者:190 (-4))
(MTL)	20633 (+401)	2154 (+91)	-	-	-
NB	120 (0)	0 (0)	2 (0)	19307 (+449) ***	0 (0)
NS	1026 (+2)	51 (0)	66 (-37)	35004 (+400)	9(0) (内 ICU 患者:4 (0))
PEI	27 (0)(13 日)	0 (0)(13 日)	0 (0)(13 日)	4274(+264)(13 日)	0 (0)(13 日)
NL	261 (0)	3 (0)	10 (-1)	10275 (+123) ***	3 (-1) (内 ICU 患者:1 (0))

(注: 括弧内は前日比)

*当館管轄州は「確定」「推定」の分類ではなく、「陽性(Positive)」「陰性(Negative)」のみの分類表記。但、ケベック州は確定数。

**「現状の感染者数」は、「累計陽性者数」から「治癒者数」と「死亡者数」を差し引いた数(=Active cases)。

***陽性数も含めた検査数の合計を表示していることに留意。

1 当館からのお知らせ等

◎(5月14日)当館管轄州が発表した規制緩和プランの概要を当館 HP に掲載しています。本日ケベック州が緩和プランの変更を発表しました。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/recovery_plans.pdf

◎(5月8日)ケベック州保健研究所 (INSPQ)による「ケベック州における隔離解除戦略: 予測」

(<https://www.inspq.qc.ca/covid-19/donnees/projections/deconfinement>)

ケベック州保健研究所が、同州における隔離解除の影響について、ラヴァル大学と共同で行った予測(「ケベック州における隔離解除戦略: 予測(Stratégies de déconfinement au Québec : projections)」)を発表。

いずれのシナリオでも、モンリオール圏では今後数カ月感染が継続する見通しであり、モンリオール圏でのウイルス感染収束が見通せない状況にあると予測。

※ 当該予測値には未確認のケース(検査をしていない、症状があらわれない等)も含まれていることから、州政府が公式に発表している統計上の確定値よりも、数値が5倍程度高くなっていることに留意が必要(例えば、現在隔離措置の下にあるモンリオール圏の5月12日付(確定)新規感染者数は約600人であるが、当該予測値では同じ状況で5月の一日平均は2400~3500人と算出している)。

【ポイント】(当館作成概要: https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/0512_Modeling.pdf)

- モンリオール圏では、いずれのシナリオでも、今後数カ月感染が継続していく。

- 当該モデルは「モンリオール圏(Grand Montreal: モントリオール, ラヴァル, モンテレジ, ラノディエール, ロレンシャン)」と「その他の地域」に分けて予測。
- モントリオール圏において、現時点で隔離解除した場合、新規感染者数・入院者数・死亡者数ともに急激に増加する可能性があり、感染者数は6月初めから一日1万人以上になると予測。
- また、同圏で隔離を継続した場合でも、悲観的シナリオでは新規感染者数・入院者数・死亡者数ともに増加を続け、8月には一日の新規感染者数は平均9千人に達すると予測。(楽観的シナリオでは4月～5月に頭打ちとなり、以後徐々に減少。それでも8月を越えて感染は継続していく。)
- その他の地域については、隔離措置を継続した場合減少し、隔離解除した場合でも一定か、増えても僅か。

◎(5月8日)伊澤総領事からのメッセージ

ケベック州および大西洋州の皆様へ

プリンスエドワードアイランド、ニューブランズウィック、ニューファンドランド・ラブラドール州では感染拡大がみられず、状況が落ち着いていることは大変結構なことです。ノバスコシアでも、感染拡大が続いていますが、スピードは緩やかになっています。今後、これらの地域では徐々に様々な活動が再開されていきますので、そうした動きについて随時報告させていただきます。

先週、ケベック州政府も州内の経済活動等の段階的再開の方針を発表しました。徹底した自主隔離・都市封鎖が始まって2ヶ月になり、都市活動を徐々に再開する必要があることは理解できます。他方、問題はモンリオール圏の感染状況です。残念ながらモンリオールでは、毎日数百名の新規感染が報告されており、依然として感染が抑え込まれていません。そのような中で、5月の後半から、モンリオールでも小学校や幼稚園の再開等、徐々に社会経済活動が再開される予定ですが、限定的な制限解除とはいえ、感染が依然として続いている状況下活動を再開して行く場合、それがどのような影響をもたらすことになるか心配です。こうした不安も考慮してのことと思われるのですが、昨日、ケベック政府もモンリオールにおける商業や学校の再開時期を更に1週間延期を発表しました。感染状況とともに、モンリオール圏において規制緩和がどのように進んで行くのか注視していきます。

総領事館の活動は今まで通りです。皆様におかれましても、今後も緊張した不自由な日々が続きますが、感染を避けるために、十分な予防策をこれまで同様継続して頂くようお願いいたします。

◎(5月8日)新型コロナウイルス感染症への対応に関する外国プレス向け記者会見(第9回:概要)

https://www.youtube.com/watch?v=g9b0Zo_qbuY

◎(5月6日)モンリオール・アカデミー会による COVID-19 関連情報

当会有志による COVID-19 パンデミックにおける邦人支援プロジェクトの一環として、当会に所属している様々な分野のエキスパートが、COVID-19 に関する医療健康情報を日本語で随時発信しています。以下をご参考。

URL: <https://www.montreal-academy.com/covid-19> (モンリオール・アカデミー会幹事 佐藤宏明)

(注)COVID-19に関する研究は日々更新しております。当サイトの記事については、できる限りの努力をしていますが、その正確性、最新性、適切性に関して第三者に担保されるものではありません。また利用者の皆様が当サイトの情報を用いて行う一切の行為について、記事の投稿者と所属施設、アカデミー会、及び在モンリオール総領事館は、いかなる責任も負いません。

◎(5月8日)当館 HP に当館管轄州の今後の見通し(モデリング)の概要を纏めていますので、ご参照ください。

5月8日現在(ケベック州のみ) https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/0512_Modeling.pdf

4月20日現在 https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/0420_Modeling.pdf

◎(4月28日)ケベック州の経済活動や学校等の再開に係る特設ページがケベック州 HP に掲載されました。

<https://www.quebec.ca/sante/problemes-de-sante/a-z/coronavirus-2019/reprise-graduelle-activites-mesures-ralentissement-covid19/#c57355>

◎(随時更新)日本とカナダの間のフライトは頻繁に変更されています。在カナダ日本国大使館 HP では「日本・カナダ間の渡航に関する情報」を随時更新しておりますのでご参照ください。

https://www.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/Covid19_20200330.html

◎(随時更新)各州政府および当地報道発表による感染データの数値をもとに、状況の推移を把握するためのグラフを作成しましたので、ご参照ください。

<https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/graph.pdf>

◎当地で疑わしい症状が出た場合に自分でどういった対応をとるべきか等について、ケベック州が対応ガイド(Self-care Guide)を掲載していますので、万が一の際に参考にしてください。

https://cdn-contenu.quebec.ca/cdn-contenu/sante/documents/Problemes_de_sante/19-210-30A_Guide-auto-soins_anglais.pdf?1584985885

◎(3月26日)自宅待機中の健康上の心がけ ～ 在カナダ日本国大使館 藤川医務官からのアドバイス

1 規則正しい生活の遵守

精神面が落ち込む、身体に何らかの影響があり得るため、可能な限り、起床・食事・睡眠について、通常どおり、規則正しい生活を守る。また、引きこもって運動不足になりやすいため、自宅内で体操等、意識的に身体を動かすと良い。

2 友人・知人等とのコミュニケーション維持

精神面の不安を和らげるため、電話、テレビ電話等、様々なツールを活用し、いつも以上にハードルを下げて、意識的に誰かと連絡を取り合う。

3 新型コロナ関連情報を見聞きしない時間を確保

ネットニュースを追いかけ続けたい気持ちは分かるが、1日30分でも良いので、新型コロナに関する情報に触れない時間を作る。特に、就寝前にスマホ等でニュースを追うことは控えると良い。

■参考リンク:

・日本心理学会(https://psych.or.jp/about/Keeping_Your_Distance_to_Stay_Safe_jp/)

・筑波大学(<https://plaza.umin.ac.jp/~dp2012/covid19.html>)

・米国 CDC(<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/prepare/managing-stress-anxiety.html>)

2 新型コロナウイルスに係る当館管轄州の報道ぶり

※以下の情報は、報道ベースのものであり、当館が情報の正確性について保証するものではありません。

【1 カナダ全般】

(14日)11時、トルドー首相が定例記者会見を行ったところ、同要旨は以下のとおり。

●約4億7000万の漁獲給付(Fish Harvest Benefit)。漁業従事者(fish harvesters)支援を実施。25%の収益減の者へは1万ドルを上限に75%をカバーする。

→ 首相府発表:<https://pm.gc.ca/en/news/news-releases/2020/05/14/prime-minister-announces-new-support-canadas-fish-harvesters>

●国立公園に関し、早ければ6月1日に部分的に再開(当館中:ケベック州では Forillon (Gaspésie) や Mauricie (Shawinigan) など)。引き続き社会的距離の確保は必要。他方、先住民保護のため、加北極圏沿岸水域、ケベック州北部、ラブラドルの沿岸地域でのプレジャークラフトの運行は禁止。

【2 ケベック州】

(1)(14日)13時、ルゴー州首相、ルロー・モンリオール地域担当大臣、プラント・モンリオール市長、他が記者会見を行ったところ、要旨は以下のとおり。(※ ルゴー州首相は15日土曜までモンリオールを訪問中。)

[ルゴー州首相]

●再開に向け状況がそろわないので、再開日程を以下のとおり変更。

- モンリオール圏(CMM)における小学校の再開を9月まで延期。(これまで5月25日予定)
- 同圏の保育施設の再開を6月1日まで延期。(これまで5月25日予定)

●モンリオール圏の商業施設の再開は5月25日開始を維持するが、これも状況の改善が前提。

●(質問に答え、)商業再開について経済関係者から要望を確かに受けており、25日の再開を願っている。再開を延期せざるをえなくなっても、例えば商店の扉の外で注文商品をピックアップする方法などもあろう。

●マスクの入手支援のため、モンリオール圏及び交通関連会社に対し、500~600万加ドルの支援を行う。

●(質問に対し、)6月末までに遠隔による何らかの授業が初等・中等教育の生徒に対し行われる見込み。

[モンリオール市長]

●より多くの人々がマスクを着用するようになっていることは良い傾向。公共交通施設におけるマスク着用を義務化する必要があるか否か数日以内に検討していきたい。

●学校再開の延期は必要であり、ルゴー首相の判断に賛同する。

[モンリオール保健局長]

●市中において3千の検査を行った。現在モンリオール圏で5つの移動式検査ユニットが巡回しているので、症状のある人と接触したが症状のない人にぜひ検査にきて欲しい。

(2)(14日)モンリオールにおいて市中感染が上昇。ここ数日はオープン空間で場所も分からない市中感染が毎日200~300件(3月、4月時は平均175件)に上り、5月3日からは感染者の過半を占めるに至っている。一方で長期介護施設、病院や保健関係従業者の間では低減してきている。家の中、食品店内、道等が感染源となっている。但し、移動式検査場等による検査強化も当該増加件数の一因ともなっている。

La transmission communautaire est en hausse à Montréal

<https://www.ledevoir.com/societe/sante/578929/la-transmission-communautaire-est-en-hausse-a-montreal>

(3) (14日)【英ガーディアン紙 コラム: モントリオール在住 Tracey Lindman (フリーランス)】

新型コロナウイルスについてモントリオール市は現在カナダの震源となっており、ケベック州も一日当たり死亡者数では世界のワースト7位となっている。他方で同市民の大半は自宅隔離措置には従っている。以下のとおり感染者の多くは貧困や差別などシステムチックな格差を経験している人々である。

- ① 高齢者。死者の82%は高齢者施設の人々。74%が80歳以上、97%は60歳以上である。
- ② 言われるがまま、長期介護施設に送られ従事したハイチ人等の移民・亡命希望者。
- ③ 人員不足を補うため、当局が長期介護施設間の人員の融通を認めた、それが蔓延の一因となった。モントリオールの感染者の5人に一人はヘルスケア従業者である。
- ④ モントリオールで打撃を受けている地区の特徴はそれぞれ類似している。低所得、大きな移民コミュニティ、沢山の有色人種、質の悪い住居の居住者。
- ⑤ 郊外のいくつかの地区では、最も人口密度の高いニューヨーク郊外地区よりも約2倍の人口密度。社会的距離を保つことが困難な人々。

Why are so many people getting sick and dying in Montreal from Covid-19?

https://www.theguardian.com/world/2020/may/13/coronavirus-montreal-canada-hit-hard?utm_term=Autofeed&CMP=tw_t_gu&utm_medium&utm_source=Twitter#Echobox=1589385879

(4) (13日) 5月20日から許可されるスポーツ: ゴルフ、場外テニス(シングルのみ)、場外水泳、場外釣り、陸上競技、カヌー、ヨット等。(引き続き不許可: 野球、サッカー等のチーム競技、室内スポーツ、公共施設での室内水泳等)

Activités estivales: déconfinement timide à partir du 20 mai

<https://www.journaldemontreal.com/2020/05/13/annonce-de-deconfinement-sportif-cet-apres-midi>

(5) (14日) 今日までケベックにおいて新型コロナウイルスで亡くなった3320人のうち2059人は長期介護施設の居住者であった。**Plus de 2000 morts dans les CHSLD**

<https://www.lapresse.ca/covid-19/202005/14/01-5273519-plus-de-2000-morts-dans-les-chsld.php>

(6) (14日)【分析記事 Montrealgazette 紙 Aaron Derfel】

日本の当局が下船を認めずに結局700人以上の感染者と13人の死者をもたらすことになったダイヤモンドプリセス号と同じようにケベック州、特にモントリオールでは長期介護施設がウイルスの繁殖場所となっている。症状が出る前、無意識のまま乗客を感染させた船員達のように、長期介護施設では従業員が高齢者にウイルスを移していった。

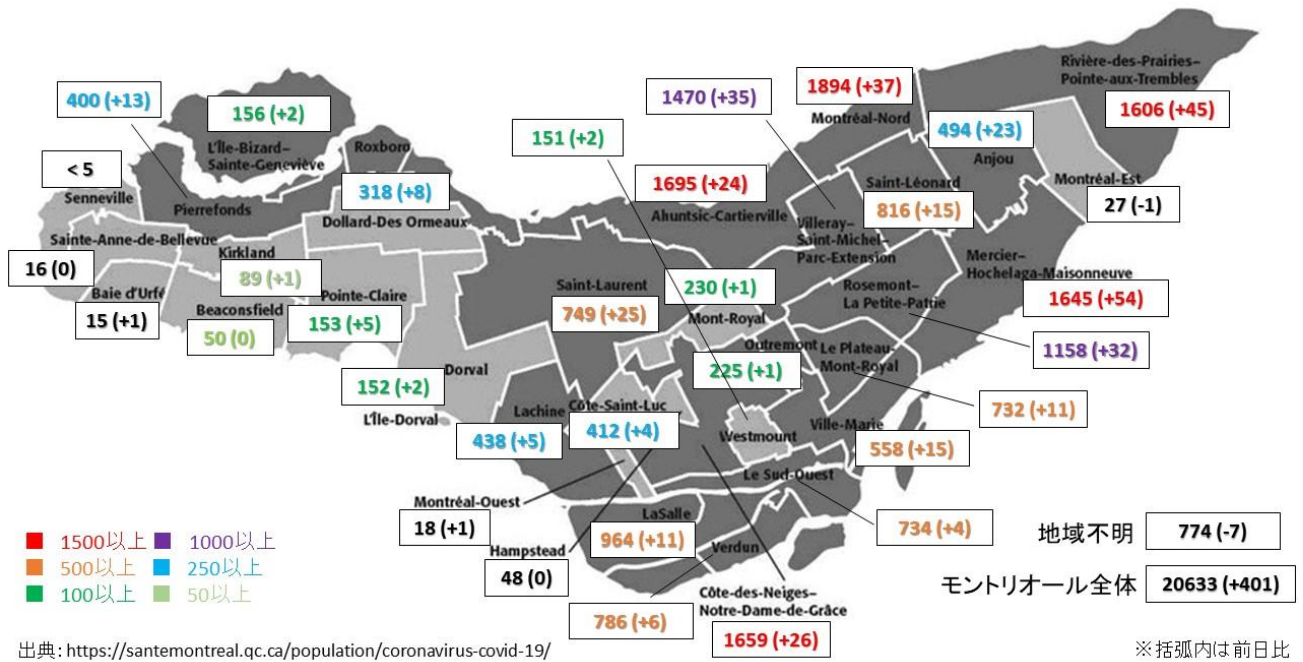
Analysis: How Montreal's CHSLDs mirrored the Diamond Princess outbreak

<https://montrealgazette.com/news/local-news/analysis-how-montreals-chslds-mirrored-the-diamond-princess-outbreak/wcm/b0a4448e-d8cd-437b-b058-e4612798dc8f/>

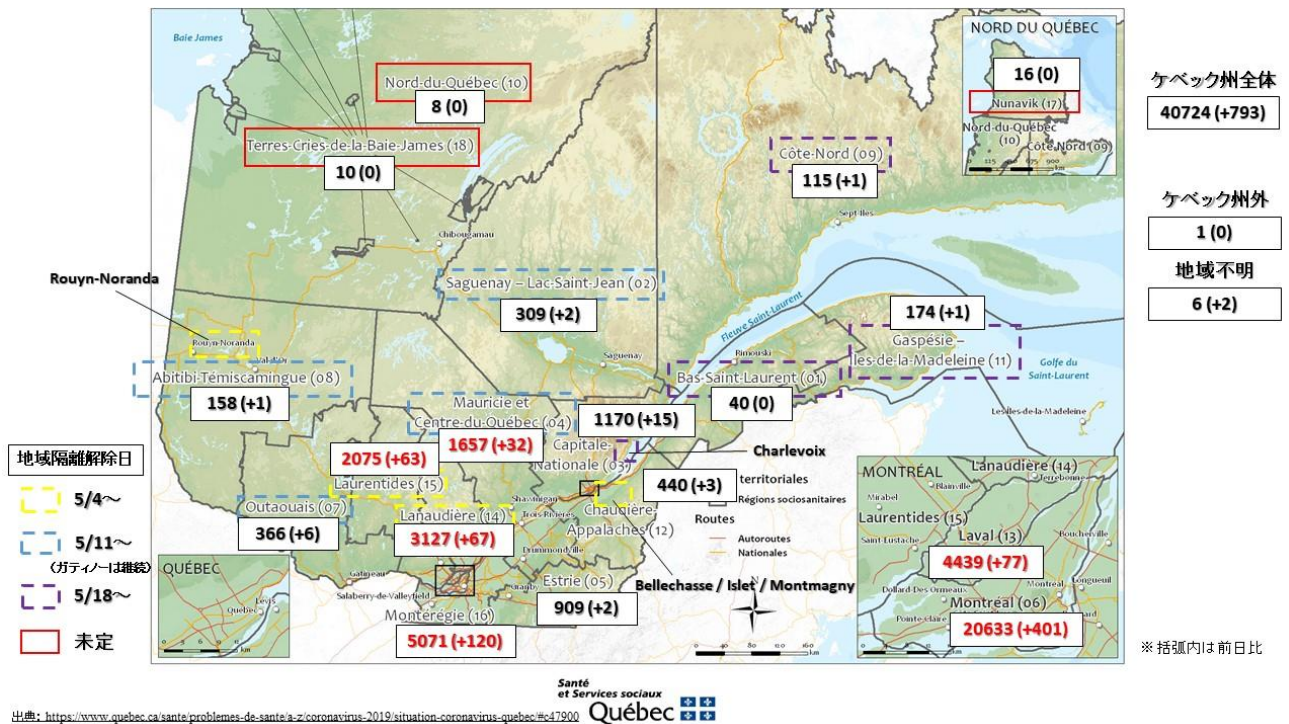
(7) (14日) 新型コロナウイルス流行の当初、保健省はモントリオールの全ての橋を閉鎖することを検討したが、適用不可能であり、また益することより害が大きいとして実施しなかった。実施するにはケベック州全要員の5分の1に当たる1000人によるパトロールが必要となり、またプラント・モントリオール市長も後ろ向きであった。

Fermer l'île de Montréal aurait été pratiquement impossible

<https://www.journaldemontreal.com/2020/05/14/fermer-lile-de-montreal-aurait-ete-pratiquement-impossible>



(参考:5月13日18時現在モントリオール島地区別感染者数)



(参考:5月13日18時現在ケベック州地域別感染者数)

【3 ノバスコシア州】（※定例記者会見は火・水・金のみ開催の様式。）

(1) (14日) 州首相の閣議後の発言概要

- Among the topics addressed in the Q&A, Premier McNeil responded to questions on the COVID-19 support programs being provided at the federal and provincial level, in particular the province's fiscal capacity to continue to help people and businesses (including in rent payments) get through this period. The main focus now is to support companies (e.g. retail sector) affected by public health measures/orders (e.g. closures) to get back into the economy once it starts back up.
- As for a question on NS's response to COVID-19 on the healthcare front, he reminded reporters that initially Public Health Canada and WHO were saying asymptomatic people could not transmit the virus; this information which was later refuted was likely at the source of the problem in long-term care facilities (11 different ones in NS). He stated that it was critical that they prepare their healthcare system in terms of ventilators and ICU, and that the healthcare system stood that test, but now NS needs to look ahead to potential second and/or third waves. <https://www.facebook.com/nsgov/videos/324971985132098/>

(2) (14日) 州政府プレスリリース

- Press releases for today's COVID-19 numbers update:

Two New Cases of COVID-19

<https://novascotia.ca/news/release/?id=20200514002>

Deux nouveaux cas de COVID-19

<https://novascotia.ca/news/release/?id=20200514003>

- Press releases regarding yesterday's news conference.

Nova Scotia Reports Three More Deaths, Four New Cases of COVID-19

<https://novascotia.ca/news/release/?id=20200513001>

La Nouvelle-Écosse annonce trois autres décès et quatre nouveaux cas de COVID-19

<https://novascotia.ca/news/release/?id=20200513002>

(3) (14日) Ferry service between Wood Islands, PEI, and Caribou, NS, will resume May 15 and will initially only be available to commercial trucks and their drivers, per Northumberland Ferries Ltd. It will run Sunday to Friday. Service for all other travellers will not be permitted until interprovincial travel restrictions are lifted.

Ferry service from P.E.I. to N.S. resumes Friday, but only for large trucks

<https://www.cbc.ca/news/canada/prince-edward-island/pei-ferry-service-resumes-1.5568435>

【4 ニューブランズウィック州, プリンズエドワードアイランド州, ニューファンドランド・ラブラドール州】

ニューブランズウィック州

(12日) フィッチ観光文化大臣は、州における観光業の重要性を鑑み、5月～6月にかけて再開可能な観光名所のリストを再考し発表。

Revised/Provincial parks and major tourism attractions to reopen

https://www2.gnb.ca/content/gnb/en/news/news_release.2020.05.0267.html

関連記事

(13日) Provincial parks, trails, and other tourist attractions set to reopen

<https://www.cbc.ca/news/canada/new-brunswick/covid-provincial-parks-trails-reopen-1.556832>

プリンスエドワードアイランド州

(1) (13日) PEI 州と NS 州を結ぶ、Northumberland フェリーが5月15日に再開。商用トラックが対象で、一般客への開放は、州境の旅行規制が解除されるまでは行われない。

Ferry service from P.E.I. to N.S. resumes Friday, but only for large trucks

<https://www.cbc.ca/news/canada/prince-edward-island/pei-ferry-service-resumes-1.5568435>

(政府発表) Statements on Northumberland Ferry Service

<https://www.princeedwardisland.ca/en/news/statements-on-northumberland-ferry-service>

(2) (13日) 5月22日のレベル2への移行を受け、全ての児童施設を再開予定。首相はロックダウン中に留保されていた費用も段階的に再開されると発表。5月22日から6月26日までは、政府が追加で75ドル(1人/1週間)を支援。

Premier lays out basics of P.E.I.'s child-care plan

<https://www.cbc.ca/news/canada/prince-edward-island/pei-childcare-schools-phase-2-covid-19-1.5568412>

ニューファンドランド・ラブラドール州(※新型コロナウイルス関連の記者会見は月・水・金)

(1) (13日) 最高裁判所は19日、刑事・民事・家族訴訟を全てオンラインで再開する。また訴訟手続きや開示請求を同日に再開。5月4日の一部再開に続くものとなる。

N.L. courts further expanding services since reopening amid pandemic

<https://www.cbc.ca/news/canada/newfoundland-labrador/nl-provincial-court-virtual-trials-1.5568388>

(2) (13日) メモリアル大学(MUN)やCNA(the College of the North Atlantic)は、9月以降の授業の大半をオンラインに移行することを発表。ポール首相は、K-12について、教育相が近日中に来年度以降の指針を発表する予定とした。

N.L. students staying home this September, as CNA, MUN online – and K-12 may follow suit

<https://www.cbc.ca/news/canada/newfoundland-labrador/fall-education-online-1.5568199>

(了)